

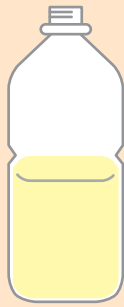


EM 廃油石けんの作り方

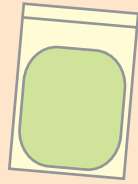
天ぷら油などの廃油は、苛性ソーダ（水酸化ナトリウム）を加えて反応させると廃油石けんとして再利用することができます。これに米のとぎ汁EM発酵液やEM-Xセラミックスパウダーを混ぜると、反応速度と抗酸化力がアップし、洗濯だけでなく、肌にもやさしい良質な“EM 廃油石けん”として使用できます。また、EM石けんを使用した廃水は水を浄化する力があります。

材 料

米のとぎ汁
EM発酵液
の上ずみ
1ℓ
(EM活性液
でも可)



EM-X
セラミックスパウダー
100g(大さじ10)
(商品例:EMスーパーセラ発酵C)



カセイソーダ
500g



廃油 3.3ℓ



茶コシで通る細かい汚れは使えます。一回使用など新しい油の場合、古い油をブレンドして下さい。逆に汚れすぎ(飲食店など)は新しいような油をブレンドして下さい。

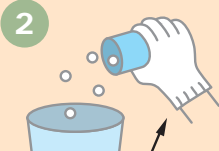
作 り 方

1



米のとぎ汁EM発酵液の上ずみ1ℓとセラミックスパウダー100gを入れキャップをして振る。

2



カセイソーダ500gをポリバケツに入れる。

3



1の米のとぎ汁EM発酵液を少しずつ入れて反応させる。

4



棒でかき混ぜてカセイソーダをしっかりと溶かす。

5



カセイソーダが溶けたら廃油3.3ℓを入れる。

6

棒でかき混ぜる
(新しいような油～30分
古いような油～15～20分)

気温・湿度・油の状態によっては早く固まる場合があります。マヨネーズ状になったらかき混ぜをやめ7番へ。

7

牛乳パックに入れる。必ずゴム手袋をする。



流し込む時、焼酎などの大きなペットボトルを切りジョーゴにするとスムーズに入る。

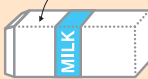
別なバケツに4本入れ固定する。

8

牛乳パックの下を時々押し、モチ位の固さになったらゴム手袋をし包丁で切る。6時間から4日以内に固まります。

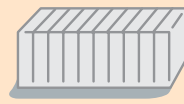


牛乳パックをカッターなどで切り開く。



9

切り分けて風通しのいい日陰に1ヶ月置く。



EM石けん

注意 作りたてはアルカリ性が強く肌荒れするので1ヶ月ねかせてから使います。

さらに楽しむために...

香料オイルなどを加えることで香りを楽しむことができます

包丁で切る時に、型取りをして自分の好きな形の石けんを作ることができます

EM石けんの使い方の例

からだ(からだ、洗髪、洗顔、口紅、手洗い)
お洗濯(くつした、軍手、えり汚れ、洗濯時の部分汚れなど衣類全般)
台所(茶碗、お皿、なべ、換気扇、ガス台、ステンレス、布巾など)
住居(窓ガラス、冷蔵庫のくすみ、テーブル、雑巾洗いなど)
浴室(お風呂水回りなど)
その他(ズック、泥汚れ、墨汁の汚れ、洗車など)

注意事項

苛性ソーダは劇薬なので作業中目に入らないように注意。(苛性ソーダは印鑑を持参し薬局で購入。)
作る時は手袋をし、肌を露出しないような服装で。(長袖、長ズボンの服装。半袖の場合は腕カバーをする。)
液が肌についたらヌルヌルが取れるまで水で流す。
発生する気体は有害なので吸わないように。換気に注意。
気温20以上の時期に作るのが理想です。

